

# 進路だより みちしるべ



令和3年10月11日発行 第10号

## 第4回進路希望調査を行います

進路計画にありますように、第4回進路希望調査を以下の日程で実施致します。校内実力テストの結果、1学期末の評定の結果、入試説明会や体験入学等で得た情報、二者面談の内容を参考にして、お子様とよく話し合っ、ご記入いただければと思います。

今回の進路希望調査の提出を受けて、10月26日（火）から行われます、三者面談（～11月2日）を実施いたします。

今回は下記の注意事項をご覧頂き、ご記入願います。

提出日 10月19日（火）（期限厳守）

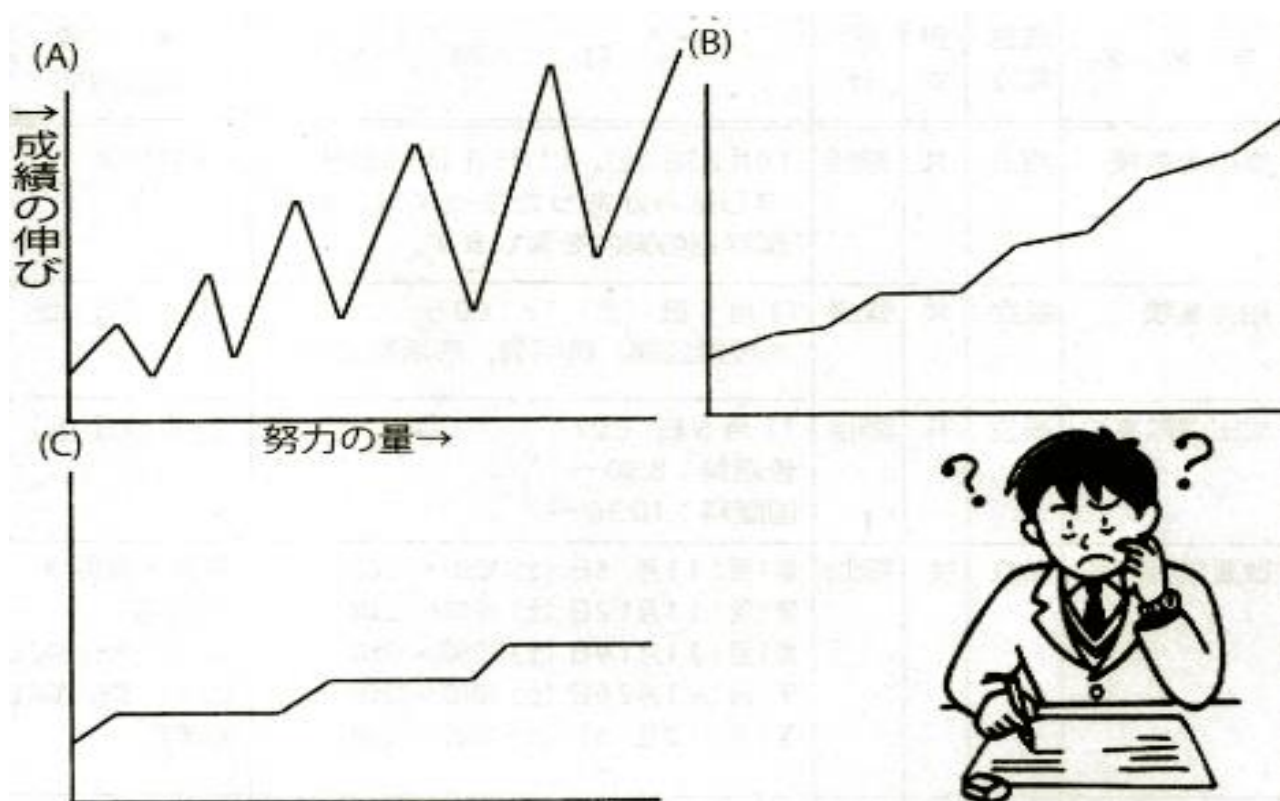
### 【進路希望調査を記入する際の注意事項】

- 1 受験を検討されている学校をその優先順位に従ってご記入ください。
- 2 私立高等学校の学校推薦（単願推薦、併願推薦等）を希望される場合は、学校名の横にその旨をご記入ください。
- 3 私立高等学校では、複数の入試日を設定している学校があります。受験日を間違えることのないよう、入試要項をご確認ください。
- 4 三者面談前に確認しておきたいことがあれば、必ず、学校に対する質問の欄にご記入ください。
- 5 第5回進路希望調査の提出は、11月15日（月）となります。第5回進路希望調査を提出した後、進学希望先受験（受検）確認票の作成を行います。

# ～～～努力と成績の伸びの関係～～～

第4回実力テストを終え、今年学校で行う実力テストは残すところ、あと1回になりました。毎回、結果が返されるたびに、喜んだ人がいればがっかりした人もいたのではないのでしょうか。そこで今回は「努力と成績の伸びの関係」について考えていきたいと思います。

まず、第一に勉強をしないことには学力は上がりません。そのうえで、勉強しても学力が上がらないという人は、勉強方法が合っていない可能性もありますが、下の図を見てほしいと思います。(A)～(C)はそれぞれの教科の「努力の量」と「成績の伸び」の関係を表したグラフです。



努力の量と成績の伸び方は教科によって違うのです。

まず (A) は国語 です。努力の量と成績の伸びが今ひとつはっきりしない。もちろん、文法や漢字などはやっただけすぐ成果も出ますが、文章の読解などはそう簡単には実力が付くものではないようです。しかし、努力をしていれば、長い目で振り返ると力が付いていることがわかります。

次に (B) は理科・社会 です。この教科は比較的 effort と成績は比例していきます。ただ、逆に言うと、努力を怠ると、あっという間に成績は落ちていってしまうものです。

最後に (C) は数学と英語 です。この教科は努力してもしばらく成績が上がらない状態が続きます。この成績が横ばいになる状態を学習心理学では、「プラトー(練習の高原)」と呼ばれます。数学と英語では、他教科と比べて「力を蓄積する」期間が必要と考えられます。

最後に一言！ 厳しいことを言うようですが、入試というには一種の競争です。自分が今の10倍の努力をしたとしても他の人が20倍の努力をすれば、学年順位などは下降する可能性があります。というわけで、今は最大限の努力をしましょう！